



安心・安全に暮らせる まちづくりを目指して

湯浅町長 上山 章善



皆さま、新年明けましておめでとうございます。

平素は、町行政に対してご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も、町民の皆さまに「安心安全」を、そして湯浅町発展のため様々な取組みを進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、近いうちに起こると言われている大地震や大津波などの大規模災害発生時において、皆さまの生命と財産を守る防災拠点施設としての機能を有する役場新庁舎及び消防新庁舎が今春完成いたします。役場と消防の現庁舎は、津波浸水想定区域内にある上、建設から長い年月が経過し、老朽化による耐震性能の不足により、緊急時において必要な機能を果たすことができる状態にありませんでしたが、非常時の司令塔となる新庁舎の完成により、私が町長就任以来全力で取り組んできた「安心安全のまちづくり」の実現に大きく前進することができそうです。

一方で、現庁舎が移転することによる駅前をはじめとするまちなかへの影響を考慮し、現庁舎移転後の湯浅駅を含めた中心市街地のあり方について、より深い検討を進めて参りたいと考えています。

また、湯浅町は、居住人口の著しい減少により、昨年4月に国から過疎地域に指定されました。政府は、湯浅町だけではな

く、すべての地方が直面する人口減に対応するため、地方創生をスローガンに地域の活性化を進めようとしています。湯浅町においても、若者が将来に希望の持てるわがまち湯浅の創生に向け、まちづくり、ひとづくり、仕事づくりを進めることで、賑わいを生み、人々が活発に交流する元気なまちを実現するための施策を、国と連携して講じて参ります。

皆さまご存知のように、湯浅町には、伝建地区などの歴史的な建物がたくさんありますが、歴史を活かした活力あるまちづくりを進めるための新たな手段として、未だ顕在化されていない湯浅の新しい歴史的な魅力を発見したいと考えています。

湯浅の将来がどうあるべきかを定めた第3次長期総合計画前期基本計画の策定から5年が経過し、長期総合計画の基本方針でもある「誇れる郷土とともに創造安心安全のまち 湯浅」に向け、様々な取組みを行って参りましたので、それらの進捗状況の確認を行うよい機会と存じます。これまでの事業の検証を行い、皆さまと力を合わせて今後の町の方向性を定めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆さま方にとって、健康で喜びと幸せに満ちた年となりますことをお祈りいたしましたして、新年のご挨拶いたします。

謹んで新年の
あいさつを
申し上げます

町長 上山 章善
副町長 中 美二
議会

議長 松本 典久
副議長 山家 敏宏
議員 石橋千歌子
丸山 良章
松本 光成
石本 一也
山田 真里
小松 英夫
由良 祥治
山本 年哲

教育委員会

委員長 松下 瑞應
委員 井上 栄次
竹井 猛
教育長 垣内 貞

暮らしやすく魅力あふれるまちづくりを目指して



湯浅町議会議長 松本 典久

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は町議会に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

私も議長のお職に就かせていただき早くも二回目の新年を迎えることになりましたが、就任以来町政の進展と円滑な議会運営に微力ながら取り組んで参りました。

その間、町民の皆様方から寄せられました温かいご指導やご厚情に對しまして重ねてお礼を申し上げます。さて、近年のわが国経済は、東日本大震災と福島原発事故からの本格的な復興を図るとともに、脱デフレと成長経済に移行するための各種政策の推進、加えて2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催決定などで景気の持ち直し感が感じられつつあります。しかし反面、燃料や資材単価の高騰、労働力不足などが生じており、地域の中小企業は懸命な経営努力を続けられています。

このような中であって、わが湯浅町は豊かで住みよい、活力に満ちたまちづくりを推進するため、町内にある観光資源を活用し地域の特色を活かし、住民が中心となり活力のある地域づくりを進めていかなければならないと考えております。

また、この4月には新庁舎が完成し、災害時の防災拠点としての機能を十分に発揮することで、近い将来起きるであろうと言われている東南海・南海地震などに対応できる災害に強いまちづくりと、人を大切にす

るまちづくりの推進、これからもずっと湯浅町に住みたいというまちづくりを目指し、行政と共に力を合わせて取り組んで行くことの糧になるものと考えています。

私たち議員は、住民の代表としての自覚を新たに

して、町の活性化と、町民が今まで以上に暮らしやすく魅力あふれるまちづくりを目指して、取り組んでまいります。

どうか本年も相変わらず、町民の皆様方のご支援、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、皆様方の益々のご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。

一生一回いのち一つ



教育委員長 松下 瑞應

新年のご祝辞申し上げます。

平成27年の元旦あけましておめでとうございます。

皆様には、ご機嫌良くと健勝にて新年をお迎えになられたことと拝察、およろこび申し上げます。

教育委員会、今年も子どもたちの健やかな育ちと確かな学力が身に付けられるよう、教育環境をしっかりと整えてまいりたいと存じます。

人生は、「一」に始まり、そしてまた「一」に帰る旅だと言われます。

新年にあたり、私は児童生徒の皆さんに、路傍の石の作者山本有三さんの次の言葉を贈りたいと思います。

たった一人しかない自分を
たった一度しかない一生を
ほんとうに生かさなかつたら
人間に生まれてきた甲斐がないじゃないか

今ある自分を見つめてください。まさに私という人間は、たった一人しかないのです。たった一人しかない「いのち」を今生きているのです。そう思ったら、たった一つしかない尊いいのちを大切にしながら、勉強に運動に精一杯力を尽くして欲しいのです。悔いのない学校生活を送ってください。

今は二度と帰ってはきません。今、今と今という間に今はなし、今という間に今はすぎゆく。うかうかとしている暇はありません。全力を尽くして勉強して、やがて社会に旅立つた時、自分の二本の足でしっかりと大地を踏みしめて、自分の人生を歩いて欲しいと思います。さあ新年をむかえた今、心にしつかりと未来をみつめて、今に最善の努力をしましょう。保護者の皆様、町民の皆様、子どもたちが健やかに育つよう力を与えてください。

私達も教育委員会として、しっかりと見守ってまいります。本年も何卒よろしくご支援ご協力のほどお願い申し上げます、新年の祝辞申し上げます。